

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8年 4月 13日

団体所在地 広島市佐伯区五日市5丁目 6-25

団体の名称 株式会社 桜の杜

職・氏名 代表取締役 東 真弓美

(施設名 さくらの杜こはる保育園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・休耕田で虫探しや草花摘み
- ・サツマイモの水やり
- ・休耕田の傍の用水路の水をつかって遊んだり
草花を流して遊ぶ

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・サツマイモの水やり
- ・休耕田で虫探しや草花摘み
- ・休耕田の傍の用水路の水を使って遊ぶ
- ・三篠川の浅瀬での川あそび

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・サツマイモの水やり
- ・サツマイモ堀り
- ・焼き芋体験
- ・山遊び
- ・自然散策

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・山遊び
- ・焚火
- ・休耕田での泥んこ遊び
- ・自然散策

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

2歳児クラスになり初めてさくらの杜白木に行き自然の中での活動に期待と不安でドキドキワクワクの表情をみせる子どもたち。休耕田にいた虫や脇にある水路でカエルを見つけて恐る恐る見たり怖がりながらも触ったり、草花を見つけて水路に流す様子を保育者が見せるとまねて一緒に行う子どももいたが普段の生活で経験していなかったり普段とは違う場所での活動は自ら遊びに繋げることは難しかった。保育者が自然の中にあるものを使い、遊びに繋げることで興味を示したり友だちを誘い楽しむ様子が見られた。子どもが普段は体験できないことを楽しみながら保育者と一緒にワクワクするようないろいろな遊びを発展させていきながら自然の中で魅力ある活動に繋げていきたい。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

さくらの杜白木から近くにある三篠川へ園バスで移動しライフジャケットを着用し、川に入り水遊びを楽しむ。子どもたちは保育者と一緒に水に入り水の中にある石を拾ったり水をかけあい、嬉しそうに遊ぶ様子が見られた。浅瀬にある石を水の中で拾っては積み重ねたり、水の中にいる小さな魚を含む生きものを保育者と一緒に網で救ったり触ったりすることで自然を直接、体感することができた。水を怖がる子どもは無理に水には入らず水際で手と足だけを水につけて水遊びを楽しんでいた。水が苦手な子どもには無理強いせずほかの子どもたちの様子を見ることで水に対して怖いなりにも少しずつ自分からやってみたいという姿もみられていたので無理なくいろいろな体験をしながら楽しめる活動にしていきたい。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

春に植えたサツマイモの苗に白木での活動時に子どもたちと毎回水やりを行った畑で芋ほりを行う。芋ほりをする前に葉っぱやつるをひっぱったり触ったりしながら観察をした後に手を使って土の中の芋を一生懸命かきだし土の感触を感じながらサツマイモを掘りだし子どもたちはサツマイモを手嬉しそうにしていた。収穫後は休耕田へ移動し、すくもで焼き、焼き芋にする。すくもから出した焼き芋をみんなで食べながら「あまいねえ」「おいしい」「あついね」など話しながら嬉しそうに食べていた。水やりをしながらサツマイモの成長をみてきたこともあり、芋ほりや焼き芋作りは自然体験と並行して食育にもつながったと思う。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

冬になり自然の生き物たちの活動が落ち着いているので山の中の散策を楽しんだ。秋から冬にかけて落ちた木の実や枯れた葉っぱを拾ったり集めたりしながら自然物を使って楽しむ様子が見られた。山の中では斜面をかけあがる時に転びそうになっても地面に体を低くしてお尻をつけることができるようになり身を守るようになった。一年を通して自然の中でいろいろな経験をすることで子どもたちが自ら自信をもって活動に参加するようになった。保育者が子どもたちと一緒に楽しみながら自然体験をし、子どもたちに自然の魅力を伝えたり食育にもつながる保育をおこなっていききたい。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- ・ 子どもたちの安全を第一に考えながら活動の場の整備や職員の研修を定期的に行うことで職員が誰でも白木の活動を意欲的に保育をする
- ・ 危機管理研修に積極的に参加し危機管理に対しての向上を図る

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- ・ 地域に在住の専門知識のある方に子どもたちが使っている休耕田の整備や山の整備の仕方を教えていただいたり、サツマイモの畑の土づくり、畝づくり、苗の植え方、芋ほり、焼き芋などを行い交流する

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- ・ 子どもたちが現地で見つけて採った自然物を袋に入れて園に持ち帰り、保護者と一緒に見たり触ったりする（毎月）

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	http://sakuranomori-smile.com
-------	---